

No.11-2006

平成18年11月31日発行

人間力大賞表彰式および祝賀会を終えて

TOYP2006 あきた人間力大賞 受賞祝賀会



研究会報告書も発行できました。どちらも事務局においてありますのでぜひ一度ご覧いただきたいと思います。この1年間走り続けた事業もようやく一息つきました。メンバーの皆様はもちろん、協力してくださった全ての方に感謝します。ありがとうございました。

人間力大賞運営委員会
委員長 国安 忍



去る11月18日、11月例会中にて2006年度の人間力大賞受賞者を表彰し、交流し、活動を披露していただく式典と祝賀会が開催されました。

既にご案内のとおり、従来とはスタイルを変えた土曜日日中開催ではありましたが、人間力大賞受賞者をたくさんの方に知っていただき、理解を深め、青年会議所という団体をより広くPRするという当初の目的は充分達成できたと思います。

当日は、来賓の方々から「お酒の出ない宴席も可能だね」と、表彰式や祝賀会の設えも含めお褒めの言葉をいただきました。歴代表彰した方々が掲載されている名簿もリニューアルでき、研究会の内容をまとめた



会員研修オープン委員会Ⅱを終えて

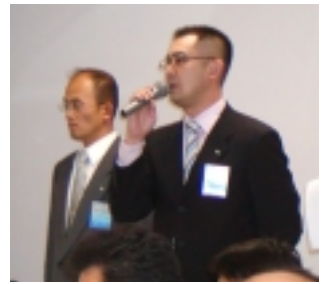
講師のYASUこと中村コーチを、9月16日に委員会にお招きし、会員研修委員会のメンバーで事前にプログラムを受講しました。

委員長の「委員会全員が主体的な役割を担ったオープン委員会にしたい」という想いの実現のため、プログラム受講後は毎週のように委員会を開催し、それぞれがテーブルコーチ役になれるよう、練習を重ねてきました。最後には、正木委員長の会社説明を聞き役メンバーでさえ、そらんじることができるようでした。

そして迎えた当日、2分間を知らせるベルが手に入らなかったり、人数変更によりテーブルの編成がうまく



くいかなかったりと、実は委員会メンバーはかなりバタバタしていました。ところがそんなトラブルも中村コーチがうまくフォローして下さり大事には至らず、さすがJCIユニバーシティのトレーナーだと皆で感心しました。



中村コーチとともに、テーブルで皆さんにどうすれば印象的なプレゼンとなるかの指摘をさせていただきましたが、プレゼン以外にも会社での朝礼からJC活動のなかでのスピーチまで何にでも応用の効く内容だと感じていただけたのではないのでしょうか。

私たち会員研修委員会メンバーにとっては、正木委員会が一年を通じて最後に一丸となり、その集大成となるオープン委員会にできたことがとても思い出に残るオープン委員会でした。

最後になりましたが、さまざまな面でご尽力くださいました進藤副理事長、阿部副理事長、委員会で素晴らしいお手本を示してくださいました荻原常任、そして当日参加して下さった皆様、ほんとうにありがとうございました。

会員研修委員会 副委員長 渡辺 毅

「今、地球のためにできること」



去る11月21日(火)秋田市立戸米川小学校において、4学年児童を対象に環境プログラム「今、地球のためにできること」を実施いたしました。今回のプログラムは大きく分けて3部構成で行いました。

第1部では、地球の環境問題や地球資源の現状についての説明、JCや他団体が行ってきた環境運動の紹介、自然を利用したクリーン・エネルギーの利用について紹介しました。

第2部では、「ソーラーカー」を子供たちに実際に見てもらい、簡単にソーラー・システムの説明をした後、一人ずつ体験試乗をしました。湧き上がる歓声、楽しそうな笑顔、止まらない質問等々・・・、「ソーラーカー」は期待通りの役割を果たし、子供たちの感性と創造性を膨らませてくれたと感じました。「プロですか?」「カッコいいです!」と言われ子供たちの人気者だった

ドライバー担当の高橋将行君、良かったですね!

第3部では、省エネやリサイクルなど自分たち一人ひとりが取り組める行動について考えました。

「二酸化炭素をなるべく出さないように気を付けます」「いつもテレビを付けっぱなしにしている家族を注意します」といった意見も出ました。今回参加した子供たちは、短い時間の中で何かを感じ取ってくれたようでした。

最後になりますが、人間が自分たちの住む地球の環境についていろいろと考えるのは当たり前です。みんなの行動(ちから)で地球を守りましょうね!

環境行動推進委員会 委員長 松本繁

